

# 平成30年度 太田市立沢野小学校 学校経営グランドデザイン

## 学校教育目標

### <基本目標>

社会の変化に主体的に対応できる、人間性豊かな、実践力のある、心身ともに調和のとれた児童を育成する。

### <具体目標（目指す児童像）>

- ① やさしく（思いやりのある子）
- ② かしこく（進んで学ぶ子）
- ③ たくましく（頑張り続ける子）

### <沢小スローガン>

相手の個性を知り、楽しく優しく笑顔あふれる沢小にしよう！

### <目指す学校像>

- 児童一人一人が生き生きと楽しく笑顔あふれる学校
- 安全で安心して通わせられる学校
- 保護者・地域と連携して、地域と共に子どもたちを育てる学校

### <目指す教師像>

- 相手の個性を知りよさや可能性を引き出し、高めていく教職員
- 研鑽を積み重ね、授業力・教師力をつけようとする教職員
- 組織の一員としての自覚を持ち、チームワークよく協働できる教職員
- 教育公務員として高い倫理観を持ち、児童・保護者・地域住民から信頼される教職員

### <本校の教育課題>

- ① 相手のことを考え行動できる子どもの育成
- ② 自分の考えを持ち、表現できる子どもの育成
- ③ 自己統制力のある子どもの育成

### <校長の教育理念>

- 「教育は人なり、和は力なり、継続は効果なり」
- ・ 教師は、子どもの良きモデルである（率先垂範、師弟同行）。
- ・ 全職員が同じ気持ちで指導に当たれば学校が変わる。
- ・ 当たり前のことを続けることで効果が得られる（凡事徹底）

## 経営方針

- (1) 知徳体のバランスのとれた児童を育てる。
  - ① 思いやりの心を持ち、考えて行動できる力を育成する
  - ② 学ぶ意欲を育て、確かな学力を育成する。
  - ③ いのちを大切にする教育を充実させ、安全で楽しい学校づくりをする。
- (2) 教職員の多様な力を結集し、和と創意のある教育活動を推進していく。
- (3) 保護者や地域の信頼・輪に応える学校づくりをする。

## 本年度の努力点

### 育成したい資質能力

● 困難にもくじけず、自分の力を高めようとする力（知識・技能の習得）

● 思いやりの心を持ち、考えて行動できる力（思考力・判断力・表現力の育成）

● 物事に主体的にかかわり、力を合わせてよりよくしようとする力（学びに向かう力・人間性の涵養）

### やさしく

- 道徳科を要とし、教育活動全体を通してよりよく生きるための道徳性育成する。
  - ・ 考え議論する道徳科の授業の充実
- 人権教育を充実させ、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認め、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。
- 沢小スローガンのもと、児童とともにいじめ防止の教育活動を展開していく。

### かしこく

- はばたく群馬の指導プランを基本とした問題解決的な学習を取り入れ、学習のねらいを明確にした分かる授業（「めあて」と「まとめ」「振り返り」のある授業）の実践をする。
- 総合的な学習の時間を見直し、地域のひと・もの・ことを生かした教育活動を展開していく。
- 英語科および英語活動を充実させる。・学習環境（英語室や教材教具等）や指導体制（ALTとの連携）の整備

### たくましく

- 教科体育を充実し、体力の向上を図る。また、食育を組織で推進する。
- Jアラート対策、交通事故予防、火災地震時における避難訓練、不審者対策など学校安全を目指す教育活動を保護者や地域と連携して推進していく。
- 食物アレルギー対応については、個々の児童に対して必要な取り組みを学校の実状に即して推進していく。

- 特別な教育的支援を要する児童や不登校児童を早期に発見し、個別に指導計画を立てたり、指導表を活用したりして、教職員が協力しながら、効果的な支援を行う。
- 学校学年学級通信、Webページ（ブログ）等を活用し、学校行事・授業の公開を積極的に行うとともに、保護者・地域と連携し、地域の教育力を活用するなど「開かれた学校づくり」を行う。
- 基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせるために、家庭と連携し、「生活チェックウィーク」の定期的な実践を行ったり、「沢小スタンダード」や「家庭学習の手引き」を配布し、その活用の仕方を啓発したりする。